

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2006-130453

(P2006-130453A)

(43) 公開日 平成18年5月25日(2006.5.25)

(51) Int. Cl.	F 1	テーマコード (参考)
B O 1 D 61/38 (2006.01)	B O 1 D 61/38	4 D 0 0 6
B O 1 D 71/34 (2006.01)	B O 1 D 71/34	

審査請求 未請求 請求項の数 8 O L (全 8 頁)

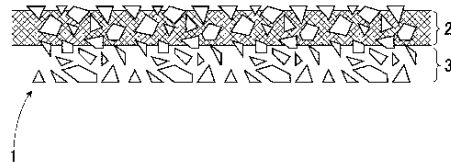
<p>(21) 出願番号 特願2004-324279 (P2004-324279)</p> <p>(22) 出願日 平成16年11月8日 (2004. 11. 8)</p>	<p>(71) 出願人 304027279 国立大学法人 新潟大学 新潟県新潟市五十嵐2の町8050番地</p> <p>(74) 代理人 100080089 弁理士 牛木 護</p> <p>(74) 代理人 100119312 弁理士 清水 栄松</p> <p>(74) 代理人 100119334 弁理士 外山 邦昭</p> <p>(72) 発明者 伊東 章 新潟県新潟市五十嵐2の町8050番地 新潟大学工学部内</p> <p>Fターム(参考) 4D006 GA41 KA12 MA03 MA18 MC29 MC90 PA02 PB17 PB64 PB65</p>
--	--

(54) 【発明の名称】 ガス・蒸気分離用液体膜及びその製造方法、ガス・蒸気膜分離装置

(57) 【要約】

【課題】 複雑な操作を必要とせず容易に作成でき、ガスや蒸気を確実に分離できる、ガス・蒸気分離用液体膜及びその製造方法、および、このガス・蒸気分離用液体膜を用いたガス・蒸気膜分離装置を提供する。

【解決手段】 1枚の多孔質膜1の一方の面に親水性の親水層2、他方の面に疎水性の疎水層3を有し、前記親水層2に親水性の液体を含浸させた。多孔質膜1は、フッ化ポリビニリデンが好ましく、親水性の液体は、グリコール類又はアミン類が好ましい。疎水性の多孔質膜1の一方の面に親水化処理を行って親水性の親水層2を形成し、親水層2に親水性の液体を含浸させることにより製造する。親水化処理は、コロナ放電処理が好ましい。



【選択図】 図1